

# 会派視察報告書

令和 8 年 3 月 23 日

釜石市議会議長 様

## 【視察報告者】

創政会：磯崎翔太、古川愛明、井筒健太郎、菊地広隆

民政クラブ：佐藤憲弘、遠藤幸徳

## 1. 視察の概要

本会派視察では、千葉県富津市に所在する NPO 法人 AlonAlon オーキッドガーデンにおいて視察研修を実施した。本視察は、就労継続支援 B 型事業を基盤としながら、農業生産と企業連携を組み合わせることで持続的な雇用創出を実現している先進的なモデルについて調査し、釜石市における人口減少下での産業振興および多様な就労機会の創出に資する知見を得ることを目的として実施したものである。

## 2. 視察日程および視察先

(1) NPO 法人 AlonAlon オーキッドガーデン（千葉県富津市）

【視察項目】 就労継続支援 B 型事業と農業生産を組み合わせた雇用創出モデル

## 3. 視察内容

(1) 事業モデルの特徴

当該事業所は、就労継続支援 B 型事業所を「仕事の専門学校」として位置づけ、胡蝶蘭栽培を中心とした生産工程を通じて段階的にスキルを習得する仕組みを構築している。作業工程は難易度別に細分化されており、多様な特性を持つ利用者が参画可能な設計となっている。

(2) 企業連携による雇用創出

特徴的なのは、企業との関係を単なる商品購入にとどめず、雇用創出へと転換している点である。企業は胡蝶蘭の購入費用を雇用や生産支援に振り替えることで、継続的な就労機会の創出に寄与している。

(3) 生産と収益構造

主力である胡蝶蘭は祝花需要を背景に安定した市場を有しており、海外育苗を活用することでコスト抑制を図りつつ国内での付加価値創出に注力している。また、マンゴーなど高付加価値作物への展開も行い、収益の多角化を図っている。

#### (4) 生活支援との一体運営

グループホーム、送迎、食事提供など生活基盤を一体的に整備することで、就労の定着と生活の安定を同時に実現している点が大きな特徴である。

#### (5) 課題

温室整備等の初期投資が高額であること、高付加価値作物は管理難易度が高いことなどが課題として挙げられる。

### 4. 釜石市への応用可能性および政策的示唆

本モデルは、福祉と産業を分断せず一体的に設計することで、地域における新たな雇用創出と所得機会の拡大を実現している点に大きな意義がある。

釜石市においては、以下の観点から応用可能性があると考えられる。

- ・ 作業工程の分解による多様な人材の活用
- ・ 企業連携による雇用創出型モデルへの転換
- ・ 既存施設の活用による初期投資の抑制
- ・ 生活支援を含めた一体的な就労環境整備

特に、人口減少が進行する中で、限られた人材を活かしながら地域内で付加価値を生み出す仕組みとして、本モデルは有効な示唆を与えるものである。

### 5. 所感

本視察により、就労支援を単なる福祉施策としてではなく、地域経済を支える産業として位置づける視点の重要性を確認した。今後は、釜石市の地域特性や既存資源を踏まえながら、持続可能な雇用創出モデルの構築に向けた検討を進める必要がある。